

アイデアの系譜学②

若澤佑典文学部准教授
(日吉・英語)

＜語学科目が嫌いになってしまっても、言葉は嫌いにならないでね…＞

ここ日吉キャンパスには、いろんな分野の学生さんが授業に通っています。それぞれの学びは多種多様である一方、文理問わず、あるいは学部に関わらず、みなさん何かしらの語学科目を履修していることは、共通しているでしょう。キャンパス内にある慶應義塾高校でも、英語はもちろんのこと、それ以外の外国語を学ぶ機会もあるようです。文学部のように外国語の芸術的な側面にフォーカスする学部もあれば、医学部のようにメディカル・イングリッシュが焦点となる学部もあります。語学が楽しい人もいれば、朝早く語学授業に行くのが苦痛な人もいるでしょう。語学をめぐる気持ちや学びの内容も、人によって、所属先によって、選択した外国語によってさまざまです。今回はお隣の「外国語をまなぶ風景」について、知られざるその姿を共有してみたいと思います。黒田龍之助『物語を忘れた外国語』や白水社編集部『「その他の外国文学」の翻訳者』を併せて紹介します。

「アイデアの系譜学」読書会とは…

「アイデアの歴史」(History of Ideas)という学問分野を参考しつつ発想の生成・循環・変容をテーマに「あれこれ喋る」、書籍持ち寄り型の会になります。前回からの継続参加、今回の単発参加の両方を歓迎します。日吉の1~2年生だけでなく、三田の上級生、湘南藤沢や信濃町からの参加、時には高校生や教員たちの「往来がある」ことが本会の特徴です。当日、どんな流れになるかは、集まってみるまで主催者も分かりません。「創造的な混沌」を目指す場です！

語学愛！
あるいは学びへの憎しみ？

12月23日(火)

17:00～
18:00 (予定)
※途中入退室可

場所：日吉キャンパス
来往舎1階 103/104
対象：塾生・教職員
(卒業生、高校生も
来場を歓迎します！)
★事前登録不要★

問い合わせ：
toiawase-lib@adst.keio.ac.jp